

# 関西学院大学 研究成果報告

2023年 3月 29日

関西学院 院長殿

所属： 商学部  
職名： 教授  
氏名： 柿原武史

以下のとおり、報告いたします。

研究制度	<input checked="" type="checkbox"/> 関西学院留学 長期（滞在国： スペイン ） <input type="checkbox"/> 関西学院留学 短期（滞在国： ） <input type="checkbox"/> 宣教師研究期間
研究課題	ガリシア語及びガリシア語復興政策に関する記述的研究
研究実施場所	サンティアゴ・デ・コンポステーラ
研究期間	2022年 3月 29日 ～ 2023年 3月28日（ 12ヶ月）

## ◆ 研究成果概要 （2,500字程度）

上記研究課題に即して実施したことを具体的に記述してください。

スペイン北西部の地域言語であるガリシア語をめぐるガリシア自治政府による言語政策についてサンティアゴ・デ・コンポステーラ大学ガリシア語研究所（Instituto da Lingua Galega, Universidade de Santiago de Compostela）の客員研究員として調査を実施した。

①現地の言語政策関係者や研究者に対する聞き取り調査および意見交換、②ガリシア語学習者に対するアンケート調査、③教育現場での参与観察などを実施した。また、④関連するワークショップ、学会、研究会、大学講義、講演会などに参加し、言語政策に関連する最新動向について資料収集を行うとともに、研究報告を行った。

具体的には、①に関しては、ガリシア自治州言語政策局長Valentín García Gómez他、言語政策局職員と複数回にわたって面会し、主にガリシア語の対外普及政策、教育政策、語学能力検定試験（Celga）についての情報交換を行った。また、ガリシア言語研究所及び文献学部のガリシア語研究者、公立小学校教員とも面談し、聞き取り調査を実施した。

②に関しては、ガリシア語学習者の学習動機に関して調査すべく、アンケート調査を作成し、インターネット上で公開し各地のガリシア語教育機関の学習者に参加を依頼した。また、ポルトガルのミーニョ大学Carlos Pazos Justo教授、イタリア、ローマ大学Attilio Castellucci教授、ポルトガルAlgarve大学Maria Jesus Botana Vilar准教授との共同研究も開始した。一方、ガリシア語教材の分析も実施した。

③に関しては、公立言語学校 (Escuela Oficial de Idiomas) におけるガリシア語講座、サンティアゴ市民向け講座、サンティアゴ大学学生向けガリシア語講座などに参加、見学を行い、担当教員や講座運営者への聞き取り調査などを実施した。また、ガリシア語だけでなく、スペイン語 (カスティーリャ語) の教員向けの講座 (サンティアゴ大学国際コース主催) にも参加し、スペイン語教育におけるガリシア語、ガリシア文化、サンティアゴ巡礼路などについての知識の取り扱いの在り方などについて参加者、教員、講座運営者との意見交換を行なった。

④に関しては、①～③で実施した研究を踏まえ、研究成果の報告を以下の通り行った。

1. 2022年5月14日「非母語話者に対するガリシア語教材で扱われるテーマと言語回復政策について」日本ロマンス語学会、(オンライン開催) …ガリシア語を母語としないガリシア自治州外のガリシア語学習者を対象とした教材を分析し、それらの教材がいかなる言語・イメージを伝えようとしているのか、あるいは結果として伝えることになるのかについて行った考察の結果を報告した。
2. 2022年8月31日「Nuevos programas de inmersión en línea en las universidades japonesas: efectos y respuestas」ASELE 32º Congreso Internacional de ASELE (外国語としてのスペイン語教育学会)、(イタリア、ヴェローナ大学) …2022年3月に関西の複数の大学の学生が参加したオンラインによる遠隔授業による短期留学プログラムについての報告を行った。
3. 2022年9月21日「A integración dos inmigrantes á sociedade receptora e o mantemento das linguas e culturas: O caso dos galegos en Suíza」XIII Congreso da Asociación Internacional de Estudos Galegos (国際ガリシア研究学会)、(ポーランド・ワルシャワ大学) …スペイン・ガリシアからスイスに移住した移民とその子孫の言語・文化維持の現状と現地社会への統合について現地調査の結果を踏まえた考察を行った。
4. 2022年11月15日「持続可能な移民政策について考えるースイスの地方自治体における外国人統合政策と言語サービスの事例からー」第38回「中央ユーラシアと日本の未来」公開講演会筑波大学「日本財団中央アジア・日本人材育成プロジェクト(NipCA)」(オンライン開催) …スイスの言語政策と移民統合政策の現状について法令の分析、移民担当部署の担当者への聞き取り調査の結果を分析し、その報告を行なった。
5. 2022年11月22日「Alguns problemas sociolingüísticos actuais en Xapón」ビーゴ大学文献学翻訳学部スペイン語学科Susana Rodríguez教授が担当するマスターコース向け授業「応用言語学」での講演(スペイン、ビーゴ大学) …現在の日本における公教育の言語教育や、外国人労働者の増加と言語教育の課題などについて報告を行なった。
6. 2022年11月22日「Algunos problemas sociolingüística acutuales en Japón」ビーゴ大学文献学翻訳学部スペイン語学科Susana Rodríguez教授が担当する学部生向け授業での講演(スペイン、ビーゴ大学) …現在の日本における公教育の言語教育や、外国人労働者の増加と言語教育の課題などについて報告を行なった。
7. 2022年11月30日「Plurilingüismo e educación」サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学Henrique Monteagudo教授が担当する学部生向け授業での講演(スペイン、サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学) …ガリシア自治州における複言語教育についての政策論争とその結果としての公教育における言語教育の実態について報告を行なった。
8. 2022年12月17日「少数言語の学習動機ー「外国語」としてのガリシア語の場合」JACET言語政策SIG研究会(オンライン開催) …2018年にサンティアゴ大学で開催された夏期講習への参加者のアンケート調査のコメントを分析した結果の一部を用いて実施したパイロット調査の報告を行なった。
9. 2023年1月19日「¿Por qué estudiamos lenguas extranjeras? -motivación, diversidad y tecnología-」サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学国際コース履修学生向け講演会(スペイン、サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学) …スペイン語を外国語として学ぶ留学生向けに、外国語を学ぶことの意義について再考を促す内容の講演を行った。
10. 2023年3月17日「O ensino de galego para non galegofalantes e as motivacións para estudar galegogo」サンティアゴ・デ・コンポステーラ・ガリシア語研究所における講演会(スペイン、サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学ガリシア語研究所) …教材研究、アンケート調査結果の分析に基づき、ガリシア語学習者の学習動機と、教材が提供する諸テーマとの間の相違点についての分析結果を報告した。

報告用紙①

提出期限：研究期間終了後2ヶ月以内

提出先：研究推進社会連携機構（NUC）

※関西学院留学は所属長を経て、宣教師研究期間は大学教員は学部長及び学長を経て院長に、高中部教員は各部長及び高中部長を経て院長に提出してください。

◆研究成果概要は、大学ホームページにて公開します。研究遂行上大学ホームページでの公開に支障がある場合は研究推進社会連携機構までご連絡ください。